

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	A型就労サポート「ひまわり」
住 所	京都市中京区聚楽通東町15-1グラン・ドモール聚楽2階
電話番号	075-813-0205

事業所番号	2610381481
管理者名	大川照美
対象年度	2026(令和8)年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		50
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5 点
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	点
期限内に提出していない場合:-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計

140

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	6,887	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,721	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	-------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	4,560,238	円	利用者に支払った資金総額	6,105,386	円	収支	▲1,545,148	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	------------	---

前々年度（6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	9,908,981	円	利用者に支払った資金総額	9,859,255	円	収支	42,726	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	--------	---

前年度（74年度）

生産活動収入から経費を除いた額	7,715,402	円	利用者に支払った資金総額	7,454,279	円	収支	261,123	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☒

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている ☐

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☒

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している ☒
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒

※研修名「BCP理解と災害時における緊急対応研修」
研修講師 中川通子（サービス管理責任者）
実施日・受講者数 8月～8月2月 リモート含む 11人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☒

※研修会名 京都文化塾例会・事業研究会
実施日 12月 17日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ「ひまわりにおける商品開発と販路について」

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業所の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒

※先進的事業所名
実施日/参加者数 月 日 人
※他の事業所名 京都市立北総合支援学校中央分校
実施日/参加者数 2月 24日 3人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☒

※商談会等名 藤袴祭販売会、寺町ホコ天販売会
主催者名 源氏藤袴会他
日時 10月 10日～13日
内容 イベント会場での新商品試作品の販売と商談
草堂行願寺、下御霊神社、寺町通

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している ☒
⑤当該人事評価制度を周知している ☒

人事評価制度の制定日 令和5年 11月 1日
人事評価制度の対象職員数 5名
うち昇給・昇格を行った者 5名
当該人事評価制度の周知方法 文書と口頭による

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している ☐
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐

※配置期間 月 日～月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐

※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐

※受理日 令和 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	A型就労サポート「ひまわり」
住 所	京都市中京区聚楽廻東町15-1グラン・ドモール聚楽 2 階
電話番号	075-813-0205

事業所番号	2610381481
管理者名	大川照美
対象年度	令和7度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 源氏藤袴会(行願寺、下御霊神社)、寺町会、旅館日昇別荘、旅館三賢、A型就労サポート「ひまわり」他

実施日程 令和7年4月～令和8年3月

実施した生産活動・施設外就労の概要

①昨年度の同志社大学プロジェクト科目で開発したフジバカマ活用「お香」「入浴剤」について、販売に向けた商品のブラッシュアップと、試験販売、本格的な販路開拓を行った。

②①の連携企業等として商品開発と販路開拓では「源氏藤袴会」「旅館三賢」「旅館日昇別荘」と連携した。また、「寺町会」ホコ天にあわせ、利用者企画の藤袴ライトアップを実施した。

③商品開発では、利用者が「藤袴入浴剤」「藤袴のお香」を製作。利用者のアイデアにより、キャラクター「藤袴蘭子」を製作しパッケージに利用。その他「絵葉書」「缶バッジ」も製作し、イベントでの販売とともに、行願寺では、入浴剤とお香の販売がスタートした。

利用者数 9人

<目的>

地域連携活動のねらい A型就労継続支援事業所への理解促進による障がい者就労の拡大と新しい商品開発と販売・販路拡大による収益増。

地域にとってのメリット 障がい者の社会参加拡大と、「フジバカマ」を活用し、京都の新しい土産を障がい者と産学連携により企画制作した京都らしい取組のアピール及び観光活性化への新しい土産（フジバカマ入浴剤とお香）の投入。

対象者にとってのメリット 企業等と共同して何かに取り組むことにより、円滑な人間関係づくりやコミュニケーション能力の向上など。また、自分たちの商品が販売されることでの社会参加機会の拡大。

<成果>

実施した結果 新商品として7年度初めて「お香」を販売できることとなった。また関連商品の開発について、旅館等のニーズを受けて新しい商品へのヒントが得られた。

得られた成果 商品が出来ることにより、障がい者の社会参加や自己実現に繋がった。また、事業所として新しい商品製作による収入増が期待できる。

課題点 令和5～6年度の同志社大学との連携の成果を活かし、「商品化」が出来、販路も拡大した。しかし、商品の安定供給がまだ確立できず、利用者さんのモチベーションを高め、途切れないようにしたい。また、付加価値を高める工夫を今後の大きな目標としたい。

<活動の様子>



商品開発成果品「入浴用藤袴」「お香」「絵葉書」「缶バッジ」



華堂行願寺での販売コーナー



企業・団体・地域の方々の参加を得てフジバカマ新商品開発のワークショップを開



7年度藤袴祭りでの「ひまわり」利用者企画による藤袴鉢植えのライトアップ



新しいデザインでの「入浴剤」と「絵葉書」の販売



新しい藤袴入浴剤パッケージ用のキャラクター製作。「藤袴蘭子」という名前になった。

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

障がい者による商品企画・商品開発が具体化した。また、藤袴ライトアップは今後も拡大したい。新しい商品は今後も開発と販売を期待し、協力したい。

今後の連携強化に向けた課題

令和8年度も連携し、京都地域の観光活性化に寄与する土産の開発と販売、京都原種の藤袴の保全と育成まで、発展させたい。特に、寺町通のホコ天との連携により、「ひまわり」活躍の場が広がると思う。

連携先企業名	源氏藤袴会	担当者名	会長 馬場備子
--------	-------	------	---------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	A型就労サポート「ひまわり」
住 所	京都市中京区聚楽通東町15-1グラン・ドムール聚楽2階
電話番号	075-813-0205

事業所番号	2610381481
管理者名	大川照美
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

活動場所

A型就労サポート「ひまわり」事業所内

実施日程

令和7年8月～令和8年2月における平日午後に通宜

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要

施設外就労の無い灯施設内就労の日を利用し、各自のスケジュールに合わせ、利用者に対し、図書コーナーを活用した自己啓発や各種スキルの学習をどのように行うか、サービス管理責任者や生活支援員、連携企業等スタッフさんからレクチャーをした。また、BCPに基づく災害時の防災訓練、感染症対策研修を実施した。(利用者とは別に、職員に対しても図書コーナー活用とBCPについて適宜レクチャー実施)

利用者数 等 利用者9人

<活動の様子>



「ひまわり」施設内の図書コーナーの活用方法のレクチャー（写真左）、利用者の軽作業効率化研修の様子（写真右）

<目的>

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい

利用者各自の個別支援計画に基づき、一般就労に向けたスキルアップや、従事業務に関する個別知識やスキルの獲得、自ら学んでいく習慣を獲得し、仕事や社会生活の充実に資することを目的として実施。

利用者にとってのメリット

個別支援計画での目標達成や、一般就労に向けた自信の獲得、社会生活での不安解消など課題となっていることに対応できると考える。



BCPに基づく防災研修・訓練を実施（利用者・職員対象）

<成果>

実施した結果

複数回に分けての実施だったので利用者全員と職員全員が参加できた。

得られた成果

図書活用の方法、清掃における除菌の効果、自己啓発の重要性、災害から身を守る基本的知識等、社会で必要とされる知識が獲得できた。

課題点

利用者相互の連携や助け合い（共助）などを体得するため、研修後に利用者同士の話し合いを行う必要がある。



防災研修・訓練の様子（写真左）、軽作業用道具を自主製作した（写真右）

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

図書コーナーの書籍にマンガ等を加えてはどうかという提案があり、利用者からの希望もあるので加えていきたい。職員の活用が少ないので希望を聞いて購入することも必要ではないか。感染症のBCP等の研修時間を増やすと良いのでは。

今後の連携強化に向けた課題

図書コーナーを活用したワークショップを開催し、地域の人たちの「ひまわり」への理解と連携を深めたい。BCP研修においては、実際に避難所へ足を運ぶことが必要だと感じた。感染症は除菌業務などの知識も得られるよう工夫したい。

連携先企業（担当者）

株式会社バンブー除菌サービス代表取締役 笹本 武

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価

- 災害時にどうすれば良いかがわかった。しかし、とっさに出来るか心配だ。
- 清掃作業や軽作業の細かいコツ、現場での除菌や消毒の重要性がわかった。
- BCPの内容は難しい。